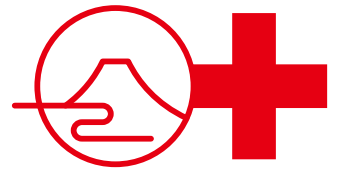


赤十字しずおか'

Japanese Red Cross Society SHIZUOKA



2023
VOL. 133

人間を救うのは、人間だ。



目の前で思いがけない事故が起きた時、
正しい知識と技術が、命を救うことにつながります。
そのため赤十字では、
救急法をはじめ各種講習会を開催しています。
今回は、乳幼児の特徴を踏まえた事故防止や、
いざという時の応急手当の方法を内容とする
「幼児安全法講習」をご案内します！

伝える！幼い命を守るために。

乳幼児の事故を未然に防ぐために！

幼い命を奪う悲しい事故が、身近で起きています。

乳幼児の年齢別死亡事故の現状は、乳児は窒息、幼児は交通事故や溺水、転落などの思わぬ事故が上位を占めています。

	乳児	幼児			
	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳
第1位	窒息 (ベッド内)	交通事故	交通事故	交通事故	交通事故
第2位	窒息 (胃内容物の誤えん)	溺水(浴槽)	窒息 (食物の誤えん)	溺水(自然水域)	転落 (建物又は建造物)
第3位	窒息 (詳細不明)	窒息 (食物の誤えん)	溺水(浴槽)	転落 (建物又は建造物)	窒息 (食物の誤えん)

出典:「子どもの不慮の事故の発生傾向」(消費者庁)



乳幼児の事故を防ぐために重要なこと

- 周りの大人が乳幼児の発達段階ごとの特徴や起こりやすい事故を理解すること
- 成長に応じて周囲の環境を整えるなどの予防をすること
- いざという時の応急手当の方法を知り、身に付けておくこと

この知識と技術を伝えるのが、『幼児安全法講習』です！

今の時期に特に注意すべき「熱中症」について見てみましょう

乳幼児の特徴

乳幼児は、成人に比べて

- ✓ 体温調節機能が未熟
- ✓ 体重1kgあたりの体表面積(外気に触れる面積)が大きい
- ✓ 背が低く、地面からの熱(輻射熱)を受けやすい

⚠ 外気温の影響を受けやすいため熱中症になりやすい

注意すべきこと、予防！

- ✓ 乳幼児を炎天下や自動車の中、暑い室内に残さない
- ✓ こまめに水分補給をさせる
- ✓ 吸湿性・通気性の良い衣類を着せる



幼児安全法講習の開催状況

令和4年度の開催数は64回、受講者数は、1,116人でした。
令和5年度は、開催数は67回、受講者数は、1,220人を計画しています！

6月18日～20日に今年度第1回目の講習を開催しました。

20代 看護師

「子どもは日々成長・発達を続けていると理解すること」が大切で、それが事故やけがを防ぐための視点や対策につながると思った。日常で生かせる知識と技術を職場の仲間にも伝えたい。



40代 主婦

乳幼児の応急処置の方法や大人との違い、注意すべき点を学べて勉強になった。もっとたくさんの人、特に未就学児を持つ親にはぜひ受けてほしい！



60代 男性

自主防災に加入していて様々な世代の人と接するため、幼児のことも勉強しようと思い受講した。乳幼児の特性について理解が進み、気をつけるべきことが分かった。



手当

● めまいや、大量の発汗などの症状が出たら...

- ✓ 風通しがよい日陰や冷房の効いた涼しい場所に移動させる
- ✓ 衣服を脱がせ、冷たいタオルで胸、腹を覆い、うちわで仰ぐなど体から熱を放散させる
- ✓ 太い血管がある首や脇の下、太ももの付け根などを氷嚢で冷やす

● それでも、水分補給ができない、症状に改善が見られない、意識がないときは、

119番通報

● また、普段通りの呼吸がないときは、救急隊が到着するまで

乳幼児の一次救命処置

● 乳幼児の一次救命処置は、体格などの違いから成人と異なる点があります。

	乳児	幼児	成人(小学生以上)
胸骨圧迫の仕方 (胸の真ん中を垂直に)	二本指で 	片手で 	両手を重ねて
圧迫の深さ	胸の厚みの1/3		約5cm
AEDパッドの貼り方	胸と背中 		胸の右上と左わき腹

● 乳児・・・1歳未満 ● 幼児・・・1歳以上就学前まで ※ 一次救命処置:心肺蘇生やAEDを用いた電気ショックなど

これからの将来を担う幼い命を“みんな”で守り、慈しみながら育てていくことが大切です。

静岡県支部では、子育て中の方や保育に携わる方だけでなく、多くの皆様に幼児安全法講習を受講いただけるよう、力を入れていきます。

講習の
詳細



令和5年

全国赤十字大会開催

静岡県から36名が
出席しました

5月18日、日本赤十字社名誉総裁皇后陛下、名誉副総裁各妃殿下のご臨席を仰ぎ、明治神宮会館にて令和5年全国赤十字大会が開催されました。コロナ禍で令和2、3年は中止、令和4年は500人に制限、そして今大会は4年ぶりに1,600名が参加。

静岡県からは、日頃より赤十字事業を支援下さっている有功章等受章者の方々総勢36名が出席しました。

式典では、皇后陛下より、全国から参会した赤十字活動への功績があった個人や団体の代表者13名に有功章が授与されました。

日本赤十字社の清家社長は、式典冒頭の挨拶で、今なお続くウクライナの人道危機やトルコ・シリア地震、さらには国内の自然災害における全国からの温かなご支援への感謝の意を表明しました。

終盤には、日本赤十字社のアンバサダーに就任した上白石萌音さんがサプライズ登場し、参会者に対して日頃の支援への感謝を述べました。



▲ 参会者の皆さん

▲ 上白石萌音さんを起用した
赤十字のキャンペーンポスター

PRESENT!

「ハンカチタオル」と「ハートラちゃんシール」を20名様にプレゼント!

以下を明記の上、WEB・メール・郵送でご応募ください。

- ①お名前 ②郵便番号・ご住所 ③年齢 ④赤十字しずおかVol.133のご意見・ご感想
⑤赤十字しずおかで、今後取り上げてほしい情報

※回覧でご覧いただいた方には、本号を郵送します。ご希望の方は①②を明記の上、「Vol.133希望」とお書きください。
なお、プレゼントのご応募と同時に申し込みいただく場合は、①～⑤を明記の上、応募締切日必着をお願いします。

応募方法

WEB



メール



koho@shizuoka.jrc.or.jp

郵送

〒420-0853
静岡市葵区追手町44-17
日本赤十字社静岡県支部
組織振興課

応募締切

令和5年10月31日(火) 必着

当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。

ハートラちゃん
シールハンカチ
タオル

※「ハンカチタオル」の色は選べません。

※収集した個人情報につきましては、個人情報保護法及び日本赤十字社の個人情報保護規程に則り取り扱います。



日本赤十字社

静岡県支部

〒420-0853 静岡市葵区追手町44-17
TEL 054-252-8131 <https://www.jrc.or.jp/chapter/shizuoka/>



この印刷物は、みなさまからいただいた資金で作っています。